

スキャニングトータルステーション

トータルステーションと3Dスキャナーの機能を持ち合わせているので、スキャニングによる点群データの取得と、自動追尾機能によるワンマン測量がこの1台で可能となり、作業効率を飛躍的に向上させます。

Trimble SX12/10

<基本的なスキャニングの流れ>



- 1 踏査選点
 - ・工事基準点の配点確認
 - ・現場状況により工事基準点の測量
- 2 器械設置
 - ・既知点(工事基準点)に器械を設置
 - ・後視点を観測し、器械座標確定
 - ・既知点(工事基準点)を2点以上観測し、後方交会法により、器械座標確定
- 3 計測エリア指定
 - ・長方形 右上/左下をタップし計測範囲を指定
 - ・多角形 多角で計測範囲を指定
 - ・水平バンド
 - 計測範囲の最上部/最下部を指定し帯状に360°計測
 - ・フルドーム 水平360°、鉛直300°の範囲を計測
- 4 測定密度設定
 - ・概略
 - ・精密
 - ・標準
 - ・スーパーファイン
- 5 写真撮影設定
 - ・広角カメラもしくは標準カメラで撮影
 - ・写真のラップ率
 - ・露出調整 (HDRモード)
- 6 スキャニング
 - ・開始ボタン
 - ・一時停止 (障害物発生時など)



効率的なデータ収集で出戻りを軽減

観測後には視準画像に合成されたデータが表示され、その場ですぐに確認することができます。

マップ機能を使うと三次元でデータを確認でき、点群データをあらゆる方向から見るすることができます。

データの欠損を現場で確認できるので、その場で補備補足の測量計画を立て、実施することができます。

再測による出戻りを減らし、作業効率を向上させることができます。



現場でデータを確認、編集可能なパワフルコントローラー

Trimble TSC7 コントローラーを使えば、視準画像をコントローラーに即時に表示し、測量エリアをイメージで確認しながら測量・測設・スキャニングが可能です。

4つのコアを持つIntel製CPUを搭載し、Windows10をOSに採用。

高密度な点群データをストレスなく表示させることができます。

ホットスワップバッテリーの採用、バックライト付きハードウェアキー、多彩な通信方法など現場計測作業で便利な機能を装備しています。

現場からデータをメールで送信し、Word、Excelなどの市販ソフトウェアも動作させることが可能です。